

事業	事務事業名	消火栓整備事業				担当部署	消防本部
						課名	総務課
217					電話	56-9483	
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち	予算科目	会計	一般会計	款	消防費
	政策名(章)	第4章 安心して暮らせるまちづくり				項	消防費
	施策名(節)	第3節 暮らしを守る体制の充実				目	消防施設費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		年度	
根拠法令・要綱等		消防力の整備指針					
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	18 頁	個別計画		

事業目的	対象(誰を・何を)	全市民	総事業費(千円)	7,200
	意図(どのような状態に)	消防水利が不足している地区住民の生命・身体・財産を火災から守る。	財源内訳	
事業内容	手段(どのような方法で)	・消火栓新設 ・消火栓移設 ・消火栓修繕	国庫支出金	
			県支出金	
			市債	
			その他	
			一般財源	7,200

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	消火栓新設	基	3	2	1	50.0	1
	消火栓移設	基	1	1	1	100.0	5
	消火栓修繕	基	21	4	14	350.0	6

整備内容	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
	消火栓新設工事実施基数 3基 消火栓移設工事実施基数 1基 消火栓修繕工事実施基数 21基	消火栓新設工事実施基数 1基 消火栓移設工事実施基数 1基 消火栓修繕工事実施基数 14基	消火栓新設工事実施基数 1基 消火栓移設工事実施基数 5基 消火栓修繕工事実施基数 6基

事業費・人員	事業費	H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	直接事業費	9,878 千円	5,242 千円	46.9	7,200 千円
人件費	千円	千円		千円	
退職手当引当金相当額	千円	千円		千円	
事業コスト計	9,878 千円	5,242 千円	46.9	7,200 千円	
財源内訳	国県支出金	2,300 千円	千円	皆減	千円
	その他	千円	千円		千円
	一般財源	7,578 千円	5,242 千円	30.8	7,200 千円
	当該事務従事職員数	0.10 人	0.10 人	0.0	0.12 人

評価項目	点数	説明
妥当性	4	消防水利が不足している地区に消火栓を設置することは、消防力の充実を図り、市民の安心・安全を守る意味で必要である。
有効性	4	消火栓を整備することは、災害発生時に直接、市民の安全確保につながり、有効性は高いと考えられる。
達成度	2	消火栓を設置することにより、消防水利が不足している地区での防火活動をより円滑に行うことができるようになった。
効率性	4	未設置地区の要望を受け、順次設置しており、今後も継続的に設置していく必要がある。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	消火栓の新規設置及び修繕は、整備計画に基づき、順次行っていくべき事業である。

事業	事務事業名	防火水槽整備事業				担当部署	部名	消防本部	
218							課名	総務課	
							電話	56-9483	
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	消防費
	政策名(章)	第4章 安心して暮らせるまちづくり						項	消防費
	施策名(節)	第3節 暮らしを守る体制の充実						目	消防施設費
事業開始・終了年度	平成 17 年度 ~				年度				
根拠法令・要綱等	消防法								
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	18	頁	個別計画				

事業目的	対象(誰を・何を)	全市民				総事業費(千円)	15,000
	意図(どのような状態に)	消防水利が不足している地区住民の生命・身体・財産を火災から守る。				財源内訳	
事業内容	手段(どのような方法で)	<ul style="list-style-type: none"> 防火水槽の新設 防火水槽修繕 防火水槽有蓋化 				国庫支出金	
						県支出金	1,977
						市債	9,700
						その他	
						一般財源	3,323

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	防火水槽の新設	基	1	2	2	100.0	2
	防火水槽蓋修繕	箇所	0	2	2	100.0	0
	防火水槽有蓋化	箇所	3	-	-		-

整備内容	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
		<ul style="list-style-type: none"> 防火水槽新設工事実施基数 1基 防火水槽有蓋化工事実施基数 3基 	<ul style="list-style-type: none"> 防火水槽新設工事実施基数 2基 防火水槽蓋工事実施基数 2基

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	直接事業費		9,400 千円	13,936 千円	48.3	15,000 千円
	人件費		千円	千円		千円
	退職手当引当金相当額		千円	千円		千円
	事業コスト計		9,400 千円	13,936 千円	48.3	15,000 千円
	財源内訳					
	国県支出金		2,200 千円	4,916 千円	123.5	1,977 千円
	その他		6,100 千円	6,500 千円	6.6	9,700 千円
一般財源		1,100 千円	2,520 千円	129.1	3,323 千円	
当該事務従事職員数		0.10 人	0.10 人	0.0	0.12 人	

評価項目	点数	説明
妥当性	4	消防水利が不足している地区に防火水槽を設置することは、消防力の充実を図り、市民の安心・安全を守る意味で必要である。
有効性	4	地震等による大規模災害発生時におけるライフライン破壊が起きた場合、消火栓が使用不能になる場合が想定され、防火水槽を整備することは、危機管理の面からも有効性があると考えられる。
達成度	3	防火水槽を設置することにより、消火栓が不足している地区での防火活動をより円滑に行うことができるようになった。
効率性	4	未設置地区の要望を受け、順次設置しており、今後も継続的に設置していく必要がある。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	防火水槽の新規設置は、整備計画に基づき、順次行っていくべき事業である。